

西暦	名前	系統	事績
1031	久能大膳藤原季善	駿河	上総忠常党と譴訴され伊豆へ遠島。のち許され相州にて道心となる。
1031	久野美耶太夫季貞	駿河	季善の子。久野氏の初見。
1155	久野六太夫	駿河	源義平の従者。武蔵大蔵合戦に参加。のち相州久野谷の名主。
1177	久野広尾	駿河	六太夫の娘。源頼朝の家臣柳川弥二郎〔吾妻鏡の久野弥次郎〕に嫁す。
1189頃	久能兵庫頭勝重	駿河	勝重の娘は駿河に流された藤原清衡の曾孫樋爪次郎兼衡に嫁し、兼衡は三沢〔宮加三〕、三保などを領した。
1193	久野（久能）四郎忠宗	駿河	駿河藤原南家為憲流入江氏の末流原氏の一族。久野家の入り婿か？忠宗兄の原宗俊は遠江原谷（掛川市）に住す。
～1214	久能大膳太夫藤原定富	駿河	後鳥羽上皇の命をうけた長谷川長易に藤枝で討たれる。
1262	久野讃岐守定全	遠州？	尾張藩久野家の先祖か？遠江原田庄細谷村〔掛川市〕に原氏庶流として所領を有すか？
1270頃	久野次郎太屋仲	鳴海	成海神社神主。武官を兼ねる。旧姓：鎌田か？
1280頃	久野民部兼之	駿河	兼之の代に駿河久能の地が今川国氏の領地となる。
1285	久野四郎兵衛入道	遠州？	遠江国住人。
1285	久野乙増丸	遠州？	四郎兵衛入道の子。中尊寺経蔵別当職を譲られるが還俗する。
1309	久能左近将監頼貞	駿河	鎮西探題引付衆の二番。神事奉行。
1364	久野三郎左衛門入道（沙弥蓮阿）	駿河	今川家臣。
1364	久野下総守藤原宗明	遠州	今川家臣？
1400頃	久野十太夫	鳴海	名古屋鳴海根古屋城主安原備中守家臣。
～1469	久野次郎左衛門尉	鳴海？	伯耆守護・山名教之配下で出雲中城進山に出陣し、尼子清定方に討たれる。